

# 東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity



RI会長 ジョン・F・ジャーム

地域社会に奉仕するロータリー

Rotary Serving Community



クラブ会長 嶋村 文男

◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30

◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

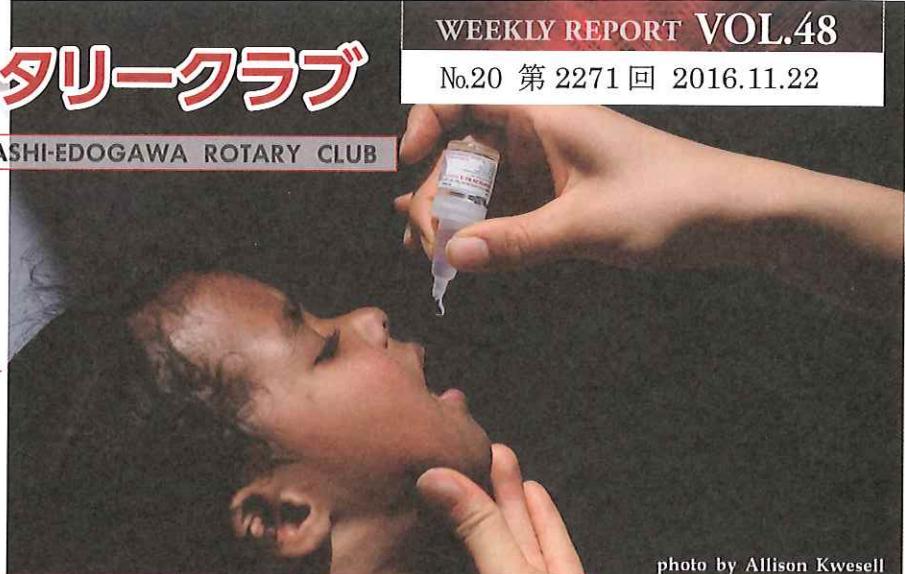


photo by Allison Kwesell

## 本日の卓話

(紹介者 プログラム委員会)

## 「金融と保険の話」

メンバー・インタークト委員長

小内 賢一君

## 次回の卓話

## 「第3回クラブフォーラム(国際奉仕)」

## 《11月15日例会報告》

## 点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

## 来賓紹介

## ◎ゲスト 2名

澤村信哉氏(ゲストスピーカー)

橋本豊之氏(嶋村会長ゲスト)

## ◎ビジター 1名

川嶋隆之氏(東ダバオRC)

以上3名



## 出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
36名	27名	93.10%	100%



職業奉仕三分間スピーチ 一樹君

## 会長報告

○国際ロータリー第3860地区 フィリピン・東ダバオRC・川嶋隆之氏へ、バナーお渡し。

○11月8日(火)~9日(水)に実施されました、被災地復興支援・気仙沼視察に、鈴木義雄会員が参加されました。気仙沼RCおよび気仙沼南RCとバナー交換報告。



## 幹事報告

○本日例会後 PM1:40~タワーホール船堀2階「藤の間」にて、第5回「ロータリーの友」を読む会開催。

会長 ◇ 嶋村 文男

副会長 ◇ 城戸 国雄

幹事 ◇ 鹿倉 勇

会報・雑誌委員会 ◇ 石橋正男・多田晃弘・一樹靖人・池田真司

事務局 ◇ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室

TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774

E-mail:e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

○11月21日(月)PM6:00~割烹「寿賀多」にて、  
第3回RE-5三役会開催。嶋村会長、城戸副会  
長出席。

—— 例会臨時変更のお知らせ ——

11月25日(金)

・東京板橋セントラルRC → 北分区IMに移動例会

11月29日(火)

- ・東京葛飾中央RC → 夜間移動例会(ゑびす家)
- ・東京板橋RC → 特別休会

**委員会報告**

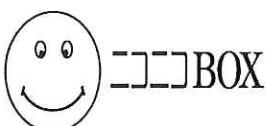
<親睦活動委員会>・望年家族会の参加状況報告。

<ローターアクト委員会>

- ・11月第2例会(11/19(土))のご案内。

**《卓話》**

11月15日の卓話は、ハウス・オブ・ジョイ、澤村信哉氏の「ハウスオブジョイへフィリピン、ミンダナオ島の孤児院運営現場から～」でした。



本日入金…¥ 42,000  
今期累計…¥ 456,500  
基金合計…¥10,431,932

橋本氏(嶋村会長ゲスト)…本日もお世話になります。

**ニコニコ情報**

①本日の卓話は、ハウスオブジョイ澤村信哉氏の「ハウスオブジョイへフィリピン、ミンダナオ島の孤児院運営現場から～」に期待致します。

②例会後、第5回「ロータリーの友」を読む会  
です。本日も有意義な時間を過ごしましょう。

村山君、塚田君、鈴木(義)君、阿部君、須賀君、  
森本君、猪野君、平田君、岡村君、荻原君、  
城戸君、岩倉君、永井君…①  
鈴木(富)君…越谷東RC青木様、有難うございました。

嶋村君…①フィリピン、ハウス・オブ・ジョイ澤村  
さん、今日はよろしくお願ひします。

②明日、モンゴルの米山学友、フレーRC  
ジャンティブ・ガルバドラッハさんと、原  
町中央RCを訪問してきます。

一樹君…澤村さん、川嶋さん、ようこそ！

計17名

**「会長の時間」のポイント**

11月15日 テーマ

「地区補助金を活用した奉仕プロジェクト」

○過去の地区補助金プロジェクトを振り返ると

①2008年(阿部会長年度)

「障がいのある人の美術展」

障がいのある人の美術作品(パラアート)約500点をタワーホール船堀に展示。障害のある人の作品から彼らの息吹と力強さを感じられる展示会になった。

②2014年(小野会長年度)

「障がいのある人と地域を結ぶ

ふうせんバレーボール大会  
ユニバーサルスポーツである“ふうせんバレー  
ボール”を通じて、障害のある人の社会参加を  
促し、ノーマライゼーションを目指す活動とな  
った。

③2015年(田村会長年度)

「母子保健施設 そよ風松島荘の美術教室」

親子の絆を再発見してもらう為、5回シリーズ  
で美術教室を開催する。

④今年度 2017年2月4日(土)

「いじめ防止 青い鳥プロジェクト」

いじめ防止映画「青い鳥」上映会と中学校生徒  
会フォーラムを開催する。毎年繰り返される  
学校でのいじめをなくし、いじめをただ単に子ど  
もの問題ではなく取り巻く大人の問題としてと  
らえ、地域社会に提起する事を目的に開催する。  
区内17校の生徒会役員(合計85名)が出席する  
生徒会フォーラムを通じて、誰もが毎日明るく  
通える学校作りに取り組む一助にしたい。

⑤次年度

「ミャンマーでの小学校建設プロジェクト」

米山奨学生モートウザチョウさんの夢がきっか  
けとなった奉仕プロジェクトで、現在ロータリ  
ー財団での審査中である。

○ロータリー財団への寄付も、このような形で奉  
仕プロジェクトの財源となっている。そしてロ  
ータリアンとして日頃より社会に何か出来ない  
かと考える習慣を身に付けることが大事である。

**青少年国際フォーラム報告②**

(前回からの続き)

そして国際奉仕についてのグループディスカッ  
ションに移りました。テーマは「どう勇気を持っ  
て一步を踏み出すか」「自分が今できる小さな国際

奉仕は「皆さんの価値観は」の3つです。各テーブルにいるローター・アクターが進行役になってインター・アクターと一緒に自分の意見を語っていました。ローター・アクターはロータリアンとインター・アクターの潤滑油になって皆さんの意見を上手に引き出していました。



そして、最後にインター・アクターがグループディスカッションの発表を、感想をまじえて一人一人行ないました。緊張しながらもインター・アクターが笑顔で発表している姿を見て、今日のフォーラムが充実したものであると感じることができました。以下、インター・アクターの感想をあげます。



「自分にできる国際奉仕は、今は分からぬことが多いけれども自分にできることを調べて人に伝えていくこと」

「ポリオのエコキャップ回収運動、アマゾンで購入するときにハウスオブジョイのHPからすること（アフィリエイト）でも国際奉仕ができること」

「観光学で異文化理解をする中で国際理解を深めたい」

「ワクチンは注射だけでなく経口もあることを学んだ」

「エコキャップだけでなく中学でやっていた書き損じ葉書を取り入れたい」

「海外からの留学生に日本の文化を知ってもらうことも国際奉仕になることを学んだ」

「自らどこかに出向いてボランティアやその手伝いをすることだけでなく、その問題を人に伝えることだけでも国際奉仕になること。その一歩踏み出すきっかけも人との出会いが大切であることを

学んだ」

「I A Cでリーダーシップを学べること、ポリオのエコキャップ回収運動で沢山の子供を救えたらしいと思った」

「多くの人と関わって文化を学んでいきたい」

「海外に興味がなかったけれども興味を少し持った」

「違う国の人と話したり、文化に関わることが国際奉仕であると思った」

「自分の知らないことを知ることができて良かった」

「奉仕活動も自分が楽しんできますが大事だと思った」

「エコキャップ回収運動の大切さを感じた」

「将来は保育士になりたい」

そして岡村地区青少年奉仕副委員長より心のこもった総評があり、笑顔と、素直な心と感謝の気持ちの大切さを語られました。



続けて、岩倉さんより閉会の言葉が述べられて、記念撮影が行なわれました。



私は、一樹さんと5月にハウスオブジョイに訪問しており、笑顔の子供たちと一緒にいた満面の笑顔の澤村さんが今でも記憶に焼き付いていて、今日もまた、その笑顔の澤村さんと再会することができました。そして、岡村さんが常々語られる「笑顔が奉仕の原点」を改めて教わった気がしました。

ご参加の皆様ありがとうございました。

(記:永井正己)

## 東分区 懇親ゴルフ大会報告

日 時：平成 28 年 10 月 26 日（水）

場 所：泉カントリー倶楽部

参加者：阿部、猪野、岡村、城戸、鹿倉、嶋村、田  
村、永井、小内 （順不同・敬称略）  
計 9 名

10 月 26 日（水）泉カントリー倶楽部にて、東分区懇親ゴルフ大会が開催されました。

当日は、10 月にしては気温も高く、絶好のコンディションの中、116 名の登録があり、当クラブからは、精銳 9 名で参加をしてまいりました。

大会は、新ペリア方式で個人戦・上位 5 名のスコアによるクラブ対抗戦が行われ、個人戦での最高位は鹿倉幹事が 5 位に入賞し、クラブ対抗戦で悲願の 10 位以内を目指した結果、4 位となりました。3 位の東京城東 RC さんとは、ネット 1.4 差で第 2580 地区全体大会への参加はかないませんでしたが、来年に向けて練習を重ね、更なるレベルアップをしていく所存です。ご参加頂きました皆さま、ありがとうございました。

次回も皆様奮ってのご参加をお待ちしております。



（記：小 内 賢 一）

## 第 12 回「親の知る権利を求めるシンポジウム」

### 参加報告

日 時：平成 28 年 11 月 5 日（土）

場 所：（公財）人権教育啓発推進センター

参加者：岡村、嶋村、永井、唐澤（50 音順・敬称略）

当日、会場は NHK や民放各局のテレビカメラが並び、報道関係者が多数取り巻き、緊張感ある中で、シンポジウムは開催されました。

写真や発言内容の公表について、ご法度とのことで、写真撮影は行いませんでした。

はじめに、NPO 法人ジェントルハートプロジェクトの代表理事の小森美登里様のご挨拶、続いて、いじめに関する教員対象アンケート結果報告、明治大学危機管理研究センター小林麻衣子様、今年 8 月に自殺で亡くなったご遺族からの現況報告、「いじめ防

止対策推進法」の見直し要望書の趣旨説明、「いじめ防止対策推進法」の効果について、杉浦ひとみ弁護士、小西洋之参議院議員から、講話がございました。

いじめに関する教員対象アンケート結果（50 校、536 名教員）では、やられたらやり返すぐらいの強さが必要であることに 42%。いじめられる側にも原因があることに 30% という回答に、違和感を持ちました。

亡くなったご遺族のお話は、自分の子供のことを思い浮かべながら聞き、ショックなことが多く、悲しみでいっぱいになりました。

要望書の趣旨説明では、18 年前に自殺で亡くなれたご遺族の方から、18 年前に起きていることが今でも続いている。このままではこれからも続いてしまう。そのため、学校や社会が隠蔽できないシステム作り、教師への研修・教育の必要性を強く訴えられていました。

「いじめ防止対策推進法」の効果について、杉浦ひとみ弁護士、小西洋之参議院議員とも、現場では法が徹底されていない印象があるというお話をされていました。

シンポジウム終了後、講師をしていただく篠原宏明様と来年 2 月 4 日当日の生徒会フォーラムの進め方についての打ち合わせを行いました。11 月 9 日現在、17 中学校、生徒 85 名です。参加する生徒が、感じたことをどんなことも自由に発言でき、いじめについての気づくことがある場を創っていきたいと思います。引き続きご指導ご協力のほどをよろしくお願いします。

（記：唐 澤 正 樹）

## 第 4 回「ロータリーの友」を読む会

日 時：平成 28 年 11 月 15 日（火）PM1：40～

場 所：タワーホール船堀 2 階「藤の間」

出席者：阿部、石橋、今野、岡村、唐澤、城戸、鹿倉、嶋村、鈴木（富）、鈴木（義）、多田、中川、森本、安池、

（50 音順・敬称略）計 14 名

